
ヘンゼルとグレーテル

悲劇のM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヘンゼルとグレーテル

【Nコード】

N3167E

【作者名】

悲劇のM

【あらすじ】

昔々、といってもそんなに昔でもないお話

森の中に小さなきこりの家がありました。

その家には夫婦がいて、夫婦には2人の子供がいました。1人はヘンゼルといって、しつかり者の男の子です。もう一人はグレーテルといって、陽気で明るい女の子でした。グレーテルはヘンゼルより3年遅く生まれた妹です。

ある夜、ヘンゼルはおしっこがしたくなり、一人トイレへと向かいました。

トイレに行くには両親の寝室の前を通らなければいけないのですが、彼はそこに明かりが漏れているのが気になりました。

おまけに両親の話し声も聞こえます。

ヘンゼルはその話し声に耳を傾けました。

「あなた、もうこの家には食料がありません。明日、二人の子を森に捨てにいきましょう」

「何を言っただ、子供達が二人で生きていくには若すぎるよ」

「私達だって食べられないんですよ？もう決めました。明日朝早く4人で森の奥深くに木を切りに行きましょう。そこであの子達を置いて帰るのです」

「ううむ、そうする他ないのか・・・」

ヘンゼルは両親の会話に声を殺して泣きました。

捨てられるのが恐くて泣いているわけではありません。自分が要らない子供だと知っての涙でした。

まだこの家にいたい。それが彼の思いでした。

そこで、ヘンゼルは外へ出ました。

月明かりがきれいな夜です。

ヘンゼルは座って黙々と砂利を拾いました。

その拾った砂利を、上着のポケットに入れます。

何故そんな事するのか、それは彼にしか分かりません。

上着のポケットが砂利で一杯になると、彼はそっと自分の部屋に戻りました。

上着を脱いで床に置くと、ベッドに入り、夢の中へとおちてゆきました。

翌朝、父親が二人の子供を起こして言います。

「家族みんなで木を切りにいくから準備しなさい」

早速二人は着替えて、それぞれ自分の斧を持って両親と森に入っていきます。

すると、ヘンゼルは上着のポケットから昨日の砂利を取り出して、10m感覚くらいで撒きながら歩きました。

両親が二人を置いて帰るといので、自分達でも帰れるように月明かりで光る砂利を道しるべにしようとしたのです。

幸い、両親はその事に気付きませんでした。

森の奥深くまで行ったときに、父親が言いました。

「ヘンゼル、グレーテル、パパ達はもう少し行ったところで木を切ってくる。後で迎えに来るからこの辺りで燃料になりそうな薪を探しておいてくれ。それと、これは昼食だ」

父親はパンを二つ取り出し、一つずつヘンゼル達に与えました。

「じゃ、頼んだぞ」

父親は母親とどこかへ消えていきました。

その背中はどこか震えていて、哀愁が漂っていました。

「じゃ、やろうか、グレーテル」

二人は辺りから薪を集めました。

もうかなりの時間が経っているにも関わらず、両親が迎えにこないのを心配に思ったグレーテルがヘンゼルに聞きます。

「ねえヘンゼル兄さん、どうしてこんなに時間が経ってるのにパパ

とママは迎えにこないのかしら」

「迎えにこないかもしれないけど、きっと大丈夫だよ。兄さんに考えがあるんだ」

「ど、どういう事なの？迎えにこないって」

「それよりグレーテル、君のポケットには何が入っているからそんなに膨らんでるんだい？」

「これ？これはさっき砂利が落ちてたから拾ってきたの。だって珍しいでしょ、森の中で砂利が落ちてるって」

そして後日、その森で二人の子供の白骨死体が発見されたとさ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3167e/>

ヘンゼルとグレーテル

2010年10月11日14時48分発行